

日本におけるブルーシーフードガイドを用いた

持続可能なシーフード利用推進に関するオピニオンリーダーの行動について

アビヤン アルダン アルファニ

キーワード：持続可能なシーフード、海洋資源保護、オピニオンリーダー、推進行動

1. 背景と目的

セイラーズフォーザシー日本支部（SFSJ）から出ているブルーシーフードガイド（BSG）は、日本の海産物に焦点を当てた唯一の手引書である。興味深いことに、SFSJのイベントにはいつも世界から、主に日本から、様々な分野のトップのオピニオンリーダーが参加している。オピニオンリーダーが持続可能なシーフードプログラムを促進する上で重要な役割を果たしていることは広く合意されていますが、オピニオンリーダーによるこの推進行動の「理由」を議論する研究はまだほとんどありません。これは、この研究が貢献することを目的とする分野です。この研究の主な問題は、「オピニオンリーダーのプロモーション行動を最大限に活性化する方法」です。

2. 方法

アンケート調査は、ブルーシーフードガイド 2019 チャリティパーティの参加者を対象として、量的および質的データ収集のために行った本研究の主なツールである。オンラインのアンケートにより、横浜で開催された 2019BSG チャリティパーティに日本各地から参加した 43 名のオピニオンリーダーについて調査をすることができた。調査では主に、オピニオンリーダーの海洋資源保護に関する行動とその推進行動について評価した。

3. 結果と意味

調査結果から、BSG の持続可能なシーフードのオピニオンリーダーには5つのタイプがあり、6つの異なる BSG 推進行動があることが分かった。ほとんどのオピニオンリーダーは少なくとも1つのプロモーション行動を行っていますが、SFSJ はオピニオンリーダーがより多くのプロモーション行動を行うよう奨励する必要があります。これを行うには、BSG を促進する方法に関する簡単な「ノウハウ」を紹介します。オピニオンリーダーに向けて SFSJ が提唱する必要がある「ノウハウ」についての提案は次のとおりです。(1) BSG を使用してライフスタイルを改善する事、(2) BSG について公に話す事、(3) 促進するあなたの周りの BSG、(4) あなたのイベントで BSG シェフを招待する事、(5) 職場で BSG メニューを使用する事、(6) ソーシャルメディアプラットフォームを最大限に活用する事、(7) 使用して創造性を高める BSG を促進する独自のスタイル。